

Q1 学校における医療的ケアとは、どのようなものですか？

学校における医療的ケアは、病院等での治療を目的とした医療行為ではなく、体調の安定した子供たちの日常生活を支えるために行う行為です。

なお、医療行為は様々な種類があり、医師のいない学校では実施が難しい場合があります。お子様に必要な医療的ケアの内容や、健康状態を踏まえ、学校での実施について相談していきます。

学校における 医療的ケア Q&A



Q2 学校では、誰がどのような医療的ケアをしてくれますか？

看護師もしくは、教員が医療的ケアを行います。教員については、法律に基づく一定の研修を修了し、登録認定を受けた者が対応します。教員が実施できる医療的ケアは、①口腔内の喀痰吸引、②鼻腔内の喀痰吸引、③気管カニューレ内の喀痰吸引、④胃ろう又は腸ろうによる経管栄養、⑤経鼻経管栄養の5つとなります。

Q3 保護者が、学校に付き添う必要はありますか？

学校で医療的ケアを実施するための準備期間中や、学校での医療的ケア実施が困難である場合は、やむを得ず保護者の方に学校生活への付き添いをお願いする場合があります。

また、スクールバスへ乗車中に医療的ケアを行うことが考えられる場合には、安全確保の困難さから、やむを得ず保護者に送迎を依頼する場合があります。

Q4 校外学習のときは医療的ケアをしてもらえますか？

通常の学校生活とは異なりますので、お子様が必要とする医療的ケアの内容や健康状態、校外学習の状況を踏まえ検討をします。

状況に応じて、保護者の方に校外学習等への付き添いをお願いする場合があります。



Q5 「主治医研修」って、どんなことをするのですか？

看護師や教員がお子様に必要な医療的ケアの実施方法や配慮事項等について指導を受けます。また、教員がお子様に対して適切に医療的ケアを実施できるよう、評価していただくこともあります。そのため、主治医研修にはお子様と保護者の方の同行をお願いしています。お子様の健康状態を一番把握している主治医の下で、保護者の方と看護師や教員との連携を図ることが、学校における安心・安全な医療的ケアの実施につながると考えています。

すべての子供に豊かな教育を

和歌山県立特別支援学校 における

医療的ケア



令和2年3月

和歌山県教育委員会

チームで支える 学校の医療的ケア

県立特別支援学校では、医療的ケアを必要とする子供達が、できるだけ多くの時間を仲間とともに過ごし、笑顔で学校生活を送ることを願い、看護師と教員による医療的ケアを実施しています。

保護者の皆さまと協力しながら、学校・医療関係者等が連携し、お子様の豊かな学びを支えています。



学校で
医療的ケアを
実施するまで



ステップ
1

お子様が、安心して学校生活を送ることができるよう、
まず学校と相談しましょう。

学校生活において、医療的ケアが必要な場合、学校の教員（校長、教頭、学部主事、担任等）に相談してください。

入学前の場合は、体験入学や入学前の面接の機会等に学校生活についての相談ができます。

学校での 手続きの流れ

1. 保護者からの申請を受けます。

2. 学校が主治医や学校医からの意見書を受け取ります。

3. 学校の医療的ケア委員会で、お子様に対する医療的ケアの実施が可能かどうかや、安全な医療的ケアの実施方法について協議をおこないます。

4. 医療的ケアを実施する場合、学校の看護師や教員が、お子様の主治医から研修を受けます。その際、学校で医療的ケアを実施するための指示書を受け取ります。

5. 安全に医療的ケアを実施するために、お子様に
応じたマニュアルを作成します。



ステップ
2

保護者の方、学校、病院が協力して、
準備をすすめていきましょう。

学校で安全に医療的ケアを実施するために、保護者と学校だけではなく、お子様の主治医、学校医などと相談しながら準備をすすめます。

その際には、お子様の普段の健康状態や、ご家庭での医療的ケアの様子、学校での対応方法等について、お話を聞かせていただくことになります。

また、学校の看護師や教員が受ける主治医研修には、お子様と保護者の方に同行をお願いしています。関係者全員で、お子様への安心で安全な医療的ケアの実施について相談していきます。

なお、準備期間中には、保護者の付き添いをお願いしています。

ステップ
3

学校で、
医療的ケアがはじまります。

お子様に、安全な医療的ケアを実施するため、日々の健康状態について、学校との情報交換をお願いします。

また、お子様の体調がすぐれないときは、ご家庭で療養することも大切です。学校と家庭が協力して、お子様の健康を守りましょう。

医療的ケアに必要な物品は、
ご家庭で準備をお願いします。

